



かんこく

韓国と日本は、どんな結びつきをもっているの



今は貿易での結びつきが中心だが、文化での結びつきも強くなってきているんだよ。

日本と朝鮮半島ちょうせんはんとうは、きよりが近いので、古くからいろいろな結びつきをもっていました。4～7世紀には、大和政権やまとせいけんが朝鮮半島に進出し、16世紀末には、豊臣秀吉とよとみひでよしが朝鮮半島に出兵しました。江戸時代には、朝鮮通信使という使節が来ました。1910～1945年には、日本が韓国を併合へいごうして、日本の植民地にしました。今の韓国は、1948年に朝鮮半島の南部にできた大韓民国だいかんみんこくのことです。日本と大韓民国の間で、正式な国交が始まったのは、1965年です。日本海に浮かぶ竹島たけしまについては両国とも、自国の領土だ、と主張しています。

貿易での結びつき

日本にとって韓国は、輸出では第3位、輸入でも第3位の貿易相手です(2002年)。韓国にとって日本は、輸出・輸入ともアメリカに次ぐ第2位の貿易相手です(1998年)。日本は、韓国に電子部品などの機械機器や化学品・金属品などを輸出し、韓国から電子部品などの機械機器や、鉄鋼てつこう・石油製品・衣料ぎよかいるい・魚介類などを輸入しています。

文化での結びつき

古くから、中国を中心とする大陸の文化が、おもに朝鮮半島を通して、日本に伝わってきました。秀吉の朝鮮出兵のときには、朝鮮から連れてきた陶工とうこうが、磁器じき(青磁せい)をつくる技術を伝えました。しかし、今の韓国には、日本に支配されていた時代の悪い思い出から、日本の文化が入ってくるのをきらう人が、たくさんいます。その人たちへの気配りから、長い間、日本語の映画・歌・漫画まんがなどが、許可されなかったのです。しかし、今では、これらの日本の大衆文化たいしゅうぶんかを受け入れ始めています。